

令和3年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金並びに  
鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

令和3年3月26日  
(一社)日本アルミニウム合金協会

令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて急激に悪化し、持ち直しの動きがみられるが、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまっている。

このような経済環境の中で、当アルミニウム合金業界においては、感染症の影響による我が国の自動車メーカーの生産の減少により、主力の自動車向け鋳物・ダイカスト需要が減少することから、令和2年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要は1,397,400トン(対前年度比 87.0%)が見込まれる。

このような状況の中で、令和3年度アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを次のとおり策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け二次合金地金需要については、国内外の自動車生産が回復することから、増加が見込まれる。
- (2) 圧延向け二次合金地金・二次地金需要については、総じて横ばいが見込まれる。
- (3) 鉄鋼・その他向け二次合金地金・二次地金需要については、国内粗鋼生産が回復することから、増加が見込まれる。

以上の状況から令和3年度のアルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通しを、1,531,600トン(対前年度比 109.6%)と策定した。

また、令和3年度鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通しは、278,900トン(対前年度比 108.7%)が予想される。

なお、今月発生した車載半導体製造工場の火災の影響については考慮していない。

## 令和3年度

### アルミニウム二次合金地金・同二次地金需要見通し

令和3年3月26日

(一社)日本アルミニウム合金協会

(単位：トン)

項目	令和元年度	令和2年度実績		令和3年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	333,426	285,900	85.7	302,900	105.9
ダイカスト	962,240	816,400	84.8	925,700	113.4
圧延	201,442	201,400	100.0	201,400	100.0
鉄鋼・その他	109,000	93,700	86.0	101,600	108.4
計	1,606,108	1,397,400	87.0	1,531,600	109.6

注1) 輸入地金を含む。

注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

## 令和3年度

### 鋳物・ダイカスト用アルミニウム一次合金地金需要見通し

(単位：トン)

項目	令和元年度	令和2年度実績		令和3年度	
		見込み	前年度比%	見通し	前年度比%
鋳物	193,138	163,000	84.4	172,600	105.9
ダイカスト	98,667	93,600	94.9	106,300	113.5
計	291,805	256,600	87.9	278,900	108.7

注1) 輸入地金を含む。